



心臓財団 季報

No.194

● 財団法人日本心臓財団 ●

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3-4-1 新国際ビル 835 区-A

○Tel 03-3201-0810 ○Fax 03-3213-3920 ○e-mail:info@jhf.or.jp ○http://www.jhf.or.jp/

February 10, 2009

第22回 日本心臓財団・バイエル薬品 海外留学助成対象研究者決定

日本心臓財団では日本循環器学会の後援のもとにバイエル薬品株式会社の協力を得て、循環器疾患の研究に携わる35歳未満の研究者が海外の研究機関に留学し、研究を行うための助成事業を実施しております。

22回目の今回は、全国より17名の応募申請があり、2月5日に当財団会議室で選考委員会が開かれ、下記の10名が選考されました。(うち1名辞退)

贈呈式は来る3月22日、大阪で開催される第73回日本循環器学会総会・学術集会(会長:堀正二大

阪府立成人病センター総長)時に行われます。助成金はそれぞれ300万円です。

選考委員(敬称略)

委員長	山口 巖	筑波大学名誉教授
委員	猿田 享 男	慶應義塾大学名誉教授
(五十音順)	高野 照 夫	日本医科大学名誉教授
	西尾 一 郎	和歌山県立医科大学名誉教授
	藤原 久 義	兵庫県立尼崎病院院長

助成対象者

(五十音順・敬称略・助成金額は各300万円)

番号	氏名	所属	研究課題	留学先
1	家串 和真 (34歳)	大阪大学医学部 老年腎臓内科 医員	心臓線維化に対する幹細胞治療の効果: microRNAの役割について	フランクフルト大学 分子心臓病学 (ドイツ)
2	上田 和孝 (32歳)	千葉大学医学部 附属病院循環器内科 リサーチレジデント	心血管疾患における血管機能の解析	タフツメディカルセンター 分子循環器学研究所 (米国)
3	大木 宏一 (32歳)	慶應義塾大学医学部 内科学(神経) 助教	脳虚血における内在性神経幹細胞活性化を介した神経再生医療に関する研究	ルンド大学病院 神経幹細胞研究室 (スウェーデン)
4	眞田 文博 (33歳)	大阪大学医学部 臨床遺伝子治療学 大学院生	ヒト心臓幹細胞の分化、自己増殖能維持の分子メカニズムの解明および心不全治療への展開	ハーバード大学ブリガムアンドウィメンズ病院麻酔・薬理学再生医療分野(米国)
5	下平 政史 (31歳)	名古屋市立大学医学部 放射線科 臨床研究医	豚の開存卵円孔に対する閉鎖デバイスを用いた血管内治療の長期的検討	ドクター研究所 (米国)
6	白戸 崇 (31歳)	東北大学大学院医学系研究科 循環器病態学 大学院生	薬物溶出性ステントによる冠動脈過収縮反応の分子機構の解明	ハーバード大学ブリガムアンドウィメンズ病院内科(生化学)部門心臓血管部門(米国)
7	菅村 公一 (34歳)	熊本大学大学院医学薬学 研究部循環器病態学 研究員	血管内皮特異的PGC1-alphaおよびNox4の動脈硬化における役割の解明	マサチューセッツ大学医学部 循環器内科 (米国)
8	田邊 克幸 (31歳)	岡山大学大学院医歯薬学 総合研究科腎・免疫・ 内分泌代謝内科学 客員研究員	糖尿病性腎症及び血管障害の機序解明と新規治療法の確立	コロラド大学デンバー校健康科学センター腎臓病高血圧内科 (米国)
9	本庄 友行 (34歳)	神戸大学医学部 循環器内科学 医学研究員	分子イメージングによる不安定粥腫の診断と組換えアポ蛋白A-1による粥腫療法の確立	シーダスサイナイメディカルセンター (米国)

第73回 日本循環器学会総会・学術集会「市民公開講座」 生活習慣から見た心血管病の予防～心血管病のリスクを克服するために～

- 日 時：2009年3月22日(日)
14:00～16:30(開場13:00予定)
 - 会 場：堂島リバーフォーラム(ホール)
〒553-0003 大阪市福島区福島1-1-17
 - アクセス：JR東西線「新福島駅」、阪神本線「福島駅」、
京阪中之島線「中之島駅」、市営地下鉄四ツ
橋線「肥後橋駅」の各駅から徒歩5分
 - 募集定員：800名ご招待(無料)
 - プログラム
- 挨拶
- 「生活習慣病と心血管病」
講師：堀正二(第73回日本循環器学会総会・学術
集会会長)
- 講演1
- 「生活習慣病と高血圧」
講師：藤田敏郎(東京大学 腎臓・内分泌内科)
- 講演2
- 「生活習慣病と糖尿病」
講師：河盛隆造(順天堂大学スポーツロジックセンター)
- ミニレクチャー1
- 「生活習慣病と運動」
講師：湯浅景元(中京大学体育学部)
- ミニレクチャー2
- 「生活習慣病と食」
講師：加福文子(辻学園栄養専門学校)
- パネルディスカッション
- モデレーター：堀正二
パネリスト：藤田敏郎/河盛隆造/湯浅景元/
加福文子
- 主 催：第73回日本循環器学会総会・学術集会、
日本心臓財団、朝日新聞社
後 援：大阪府、大阪市、日本医師会、大阪府医師会
協 賛：第一三共株式会社

- お申込み方法
参加ご希望の方は(1)郵便番号、(2)住所、(3)電
話番号、(4)氏名(ふりがな)、(5)年齢、(6)職業
をご記入の上、はがき、FAX、またはE-Mailにて
下記宛にお申込み下さい。
*1回の応募につき、2名様までとさせていただきます。
2名参加希望の場合は参加者全員の(1)～(6)をご
記入下さい。
*申し込みの際は、楷書でお書き下さい。
- 申込締切は3月3日(火曜日)必着
○ご質問のある方は、お申し込みの際にお尋ねした
い先生のお名前、質問内容を明記して下さい。
(パネルディスカッションの参考にさせていただきます)
○応募者多数の場合は、抽選を行いますのでご了承
下さい。
当選者発表は招待状の発送をもってかえさせて頂
きます。
尚、「ご招待状」1枚につき1名様限り有効です。
(3月4日より随時発送を予定しております)
- はがきでのお申込みは下記「お問合せ先」住所まで。
- FAXでのお申込みは 03-3573-2062
- E-Mailでのお申込みは event@kk-kyowa.co.jp
- 【個人情報の取り扱いについて】ご記入いただきました個人情報は、
本市民公開講座のご出席者の確認の際に主催関係者のみで使用し、
その他の第三者に提供することはありませんのでご了承下さい。
- 応募に関するお問合せ先
〒105-0004 東京都港区新橋2-20
新橋駅前ビル1号館9階
(株)協和企画内
「第73回日本循環器学会市民公開講座」事務局K係
TEL:03-3573-2066(直)(土・日・祝日を除く10～18時)

日本心臓財団ホームページの“セカンドオピニオン”をご活用ください

日本心臓財団では、インターネットを通じた心血管疾患に関する無料相談「セカンドオピニオン」を1999年より実施しています。現在までに、6000件を越えるご質問が寄せられました。

当財団の行っているセカンドオピニオンは、患者さんまたはご家族のメールをもとに専門医が答えるもので、実際の診断とは異なります。あくまで一般的な意見ですが、病院で言われたことがよく理解できていなかったり、疑問に思ったことがありましたら、お気軽に当財団ホームページの送信フォームを利用してご送信ください。

なお、事務局には専門医が常駐しておらず、また質問に対してもっとも専門的な医師が回答するシステムのため、電話での相談は受け付けておりません。また、回答までに1～2週間かかりますことをご承知置きください。

ご相談を寄せられた質問を、整理・編集してデータベース化し、皆さまのお役に立ちますよう当財団のホームページにて公開しております。キーワードにて検索も可能ですので、こちらもぜひご利用ください。

*ご利用時にお名前等の個人情報はお伺いしておりません。 *原則として病院の紹介は行っておりません。

*データベース作成時には、さらに個人が特定されないよう、情報を一般化しております。

●日本循環器学会関連市民公開講座(同時開催)●

第7回禁煙推進のための市民公開講座：「楽しく禁煙！プロジェクト」

タレント・エッセイストとしてご活躍の桐島ノエルさんをお招きして、「禁煙体操」などをはじめ、楽しい禁煙をご提案します。

- 日 時：2009年3月20日(金・祝)15：00～17：00
- 会 場：リーガロイヤルホテル大阪 2F「桂」
- 募集定員：200名

●座 長：朔啓二郎(福岡大学心臓・血管内科学)
室原 豊明(名古屋大学循環器内科学)

●プログラム：

1. 檜垣 実男(愛媛大学第二内科)
2. 高橋 裕子(奈良女子大学基盤生活科学)
3. 森山 暎子(スタディオパラディソ代表)
4. 桐島 ノエル(タレント・エッセイスト)

第7回心肺蘇生法 市民公開講座：「だれでもできる心肺蘇生法、簡単だよAED」

- 日 時：2009年3月21日(土)13：30～15：30
- 会 場：大阪市中央公会堂 大集会室(ホール)
- 募集定員：100名
- 司 会：真野 敏昭(大阪大学総合診療部)
- プログラム：

1. 「日本の心臓突然死(院外心停止)の現状」
野々木 宏(国立循環器病センター心臓血管内科)

2. 「かんたん心肺蘇生法の普及に向けて」
石見 拓(京都大学保健管理センター)
3. 「息子からの宿題」
前重 壽郎(NPO法人大阪ライフサポート協会)
4. AEDを含む簡易心肺蘇生講習
講習参加者には、講習に使用する心肺蘇生練習キットを進呈します。

●上記関連催事のお申込み先 ●

どちらも参加費無料。住所・氏名・年齢を明記の上、下記までハガキ、FAX、メールにて3月9日(月)必着でお申し込み下さい。1通で複数名お申込みの場合はお連れ様のお名前もご記入ください。事前に招待状をお送りします。

〒541-0042 大阪市中央区今橋4-4-7京阪不動産淀屋橋ビル2F 日本コンベンションサービス(株) 関西支社

・禁煙推進にお申込みの場合は「日本循環器学会K係」宛

・心肺蘇生法にお申込みの場合は「日本循環器学会S係」宛

■FAX：06-6221-5938(お問合せのみ/TEL：06-6209-0343)

■Eメール：jcs2009-ol@convention.co.jp(ジェイ・シー・エス・ニ・マル・マル・キュウ・ハイフン・オー・エル)



書籍紹介

「DVDで学ぶ カンタン! 救急蘇生」

(監修：西本 泰久、小林 正直、石見 拓、学研) B5判 定価1,260円(税込) 2008年9月30日発行

全国で急速に普及しつつあるAED。誰もが人の命を救うために使うことができる簡単な心臓救命装置ですが、いざというときに迅速な行動がとれるかどうかは、前もって知識を得ておくことが大切です。しかしながら、なかなか講習会などに参加する時間がない人も多いと思います。本書は、DVDが付いていて、動画を見ながら救急蘇生の方法(胸骨圧

迫とAED)を覚えることができます。また、本文もイラストや写真を多用して、一般の方向けにわかりやすく簡潔に書かれています。DVDと本書の冒頭に、心停止から生還された方のご家族、突然の心停止でご家族をなくされた方からのメッセージがそれぞれ載せられています。命の大切さを痛感させられる言葉です。



月刊医学雑誌

「心臓」 好評発売中!

(発行：日本心臓財団、制作：株式会社協和企画、発売：丸善株式会社)
定価：1冊1,890円(本体1,800円)、年間購読22,680円(本体21,600円) 毎月15日発行

循環器領域の投稿雑誌として40年の歴史を持つ「心臓」。2005年よりリニューアルされ、循環器医師の和文投稿誌として、さらに充実させるとともに、巻頭に「HEART's Selection」と題する特集記事を掲載しています。

本年、1月号(Vol.41, No.1)から6月号(Vol.41, No.6)までの巻頭特集テーマ一覧です。ぜひご購読ください。

- 41(1) 心肺蘇生法を科学する
- 41(2) DES時代のバイパス手術
- 41(3) DES時代の冠動脈インターベンション
- 41(4) 心臓病をもった女性の妊娠と分娩
- 41(5) 大動脈瘤を科学する
- 41(6) 心房細動のカテーテルアブレーション

ご支援ありがとうございます

当財団の賛助会にご協力いただいている企業・団体一覧

心臓病、脳卒中など循環器疾患の予防制圧をめざす日本心臓財団の事業の維持と発展にご協力下されるため賛助会にご加入いただき、ご支援を賜っております企業・団体は下記のとおりです。 (今年度分：五十音順)

(株)アクセル	協和醗酵キリン(株)	太平洋セメント(株)	(社)日本医師会	フクダ電子(株)
旭化成ファーマ(株)	興和創薬(株)	大鵬薬品工業(株)	日本ガイダント(株)	ブルーミング中西(株)
アステラス製薬(株)	サノフィ・アベンティス(株)	武田薬品工業(株)	日本軽金属(株)	ボストンサイエンティフィックジャパン(株)
アストラゼネカ(株)	(株)産経新聞社	田辺三菱製薬(株)	日本ケミファ(株)	丸善(株)
宇部三菱セメント(株)	(株)JTB 法人東京	中央建物(株)	日本光電工業(株)	(株)三井住友銀行
イーザイ(株)	塩野義製薬(株)	中外製薬(株)	日本心臓ペースメーカー友の会	三菱アルミニウム(株)
エドワーズライフサイエンス(株)	ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	帝人ファーマ(株)	日本新薬(株)	三菱地所(株)
大塚製薬(株)	(株)スズケン	テルモ(株)	日本製紙(株)	(株)三菱総合研究所
小野薬品工業(株)	(株)世界貿易センタービルディング	トーアエイヨー(株)	日本ペーリンガーインゲルハイム(株)	三菱電線工業(株)
オムロンヘルスケア(株)	ゼリア新薬工業(株)	東京海上日動火災保険(株)	日本メドトロニック(株)	三菱マテリアル(株)
関西電力(株)	セント・ジュード・メディカル(株)	東京電力(株)	ノバルティスファーマ(株)	三菱UFJ 信託銀行(株)
救心製薬(株)	第一三共(株)	東芝メディカルシステムズ(株)	バイエル薬品(株)	明治製薬(株)
杏林製薬(株)	大正製薬(株)	鳥居薬品(株)	万有製薬(株)	持田製薬(株)
(株)協和企画	大日本住友製薬(株)	(株)日清製粉グループ本社	ファイザー(株)	ユフ精器(株)

当財団へのご寄付

次の方からご寄付を頂戴しました。ここにご芳名を記して感謝の意を表します。

(2008年11月1日～2009年2月4日)

株式会社東横イン 様		100,000 円
加藤 正明 様	愛知県名古屋	60,000 円
匿名 様		20,000 円
鈴木 啓太 様	埼玉県さいたま市	200,000 円
鎌田 信夫 様	福島県いわき市	11,200 円
匿名 様		20,000 円
有田 尚樹 様	東京都町田市	1,000 円
匿名 様		8,000 円
匿名 様		2,000 円
村上 勝彦 様	愛知県名古屋	8,960 円
高橋 秀明 様	東京都中央区	2,000 円

当財団をご支援下さる方

本年度もご支援をいただいた方のご芳名を掲載します。

(2008年11月1日～2009年2月4日)

阿部 圭志 様	岩崎 忠昭 様	河北 成一 様
佐藤 皓 様	橋本敬太郎 様	宮崎 治浪 様
匿名1人		

●心臓財団からのお願い●

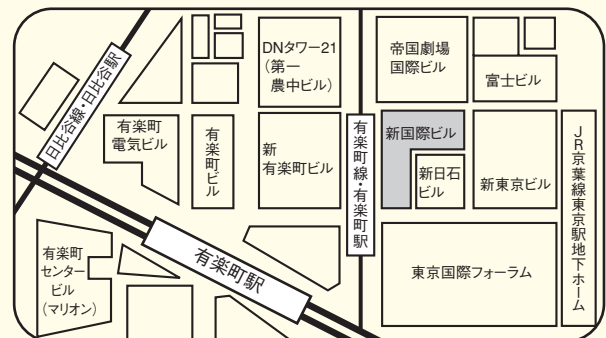
～ご寄付ならびに賛助会ご加入～

当財団が循環器疾患の予防・制圧事業を展開するうえで、その多くは寄付金ならびに賛助会費により支えられております。あなたのまわりの方にもぜひ呼びかけてください。

ご寄付はいくらでも受けさせていただいております。当財団は「特定公益増進法人」として認可を受けておりますので、税制上の優遇措置が講じられております。

ご支援いただける場合は、下記の口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行一般振替口座 **00140-3-173597**
宛て先 **財団法人日本心臓財団**



●お近くにお越しの際は、お立ち寄り下さい。●